

萩市医師会報

No.590 2022.5

6 月 例 会
6月18日(土) 定時総会後
於 医療支援センター

「春の陽気」萩市
撮影 K.W.

一 医師会

1 県医情報 前川県医常任理事

医療機関内での新型コロナウイルス感染により、外来診療を休診するケース、特に医師が感染することで医療機関全体を休業することになった事例の紹介がされたこと、日本医師会主催で都道府県新型コロナウイルス感染症に係る協議会がWEBにより開催されたこと、看護学生の臨地実習への配慮の一環として、学生がPCR検査を受けやすくするための補助金制度の活用の周知がされたこと、学校保健医に対して学校欠席者に係る感染症情報システムの運用状況の周知がされたことなど最新の情報が報告された。

2 会長報告 綿貫会長

1) 令和4年度診療報酬改定の外来感染対策向上加算について

令和4年診療報酬改定による、病院の「感染対策向上加算」並びに診療所の「外来感染対策向上加算」の新設について、現在の状況とご協力頂きます都志見病院としてのお考えについて、本日は院長の山本先生にお話を伺うこととしています。

地域の新型コロナウイルス感染症への対応として、感染患者の入院病院、それと診療所による診療・検査医療機関の実施など地域の医療機関では、それぞれの医療機能に応じて、果たすべき役割が求められてきたところです。現在、萩市内では新規感染者数が減少傾向に転じつつあり、所謂、平時の医療体制に戻りつつありますが、まだ、県内はご存じのように減少に転じていない状況が続いています。

この度の診療報酬改定でも最大の改定の課題として挙げられているのは新型コロナ

ウイルスの感染症への対策で、基幹病院を中心とした地域医療連携の充実強化が謳われているところです。具体的には新型コロナウイルス感染症など新興感染症だけでなく、多剤耐性菌などといった広義の感染症対策を実施する病院への評価である、従来の「感染防止対策加算1、2」を再編しまして、「感染対策向上加算」を三段階とし、対応する加算1、2に加算3が追加されたところです。そして、診療所においては院内の感染対策を評価する「外来感染対策向上加算」が新設されています。これらの加算を算定するためには前提条件であります、医療機関同士、そして医療機関と行政、そして医師会との連携強化が非常に重要な鍵になります。

都志見病院におかれましては従前から「感染症防止対策加算1」の届出をされており、診療報酬改定で、対応する「感染対策向上加算1」をこの4月に厚生局に届出され、順当にいけば5月には受理（4月に遡り適用）される見込みとのことです。この「感染症対策向上加算1」は、診療所向けの「外来感染対策向上加算」とも非常に密接な関係があり、病院と診療所の連携が本日、山本院長にお話を伺うことのメインテーマとなります。

診療所が「外来感染対策向上加算」の厚生局への届け出を行う場合、その要件として「感染対策向上加算1」を認定されている入院医療機関との連携が必要であり、具体的は新興感染症への院内対応だけではなく耐性菌の発生を防止するための抗菌薬の適正使用等を含む感染予防対策について、加算1認定の病院からの助言を平時から受けていることと、そして、加算1の病院が実施する「院内感染対策カンファレンス」

への参加、さらに新興感染症の発生を想定した実地訓練などを行うことが必要とされております。この連携活動については、医療機関単独で企画することは難しいので、国の考え方のイメージとしては地元の医師会と行政（都道府県保健所）が連携して通年の行程管理といったマネジメントを行い、中核となる「感染対策向上加算1」の認定病院と診療所とがカンファレンスや想定訓練を連携して実施することが必須とされています。

従いまして、都志見病院に「感染対策向上加算1」を取得して頂くことがスタートラインになります。今後一つでも多くの診療所を運営されておられる先生方が加算の申請手続きができますように都志見病院の認定を待って、医師会も都志見病院と連携をさせていただいて、会員の先生方に向けて取扱いの情報発信などの環境整備に努め、医療圏全体で申請ができるような体制を構築して行きたいと思っております。

この後、現在の進捗状況を山本院長にお話をいただければと思います。

～ 「山本院長」からの説明 ～

この4月に亀田前院長から院長職を引き継ぎました。私は約27年あまり萩の医療に関わって参りましたので、萩の地域医療の変遷を痛いほど肌身で感じて参りました。平成21年に始まった地域医療再生計画の病院統合案からずっと病院の機能再編に関わっております。今回こそは期待と覚悟を持って、医療従事者の皆さんと地域住民に「納得と安心」が得られる中核病院形成に向けて尽力したいと思っております。

さて、都志見病院では、県の保健医療計画上の「がん拠点病院」、「災害拠点病院」に加えまして、2020年2月からは山口県の「新型コロナウイルス感染症の入院協力機関」の指定を受け、感染症対応にも注

力しているところです。今回の診療報酬改定では、感染症対策の加算が新設されたところですが、今までは「感染防止対策加算1」を取得してありまして、「同加算2」を取得しています美祢市立病院と連携を続けて参りました。今回の診療報酬改定で「感染対策向上加算1」を申請することになりましたが、詳細説明は省きますが、3月31日付けの厚労省の事務連絡での疑義照会における内容の解釈に不明なところがあったことから、加算1の取得予定の県内の病院で、取得の足踏み状態が続いておりました。それが解決されたのが先週で、当病院の取得に関する会員の皆様への案内が遅れましたことをお詫び申し上げます。

昨年度までは「感染防止対策加算2」を取得している美祢市立病院と連携を行っており、全4回のカンファレンスを、都志見病院が美祢市立病院に出向いていく形で実施していました。カンファレンスの内容としましては、病院対病院の連携ですので、入院患者の感染症対応が中心で、MRSAの発生状況、抗MRSA抗菌薬の使用状況報告、他の耐性菌の発生状況としての情報共有、例示すると多剤耐性緑膿菌やVRE、CREとかESBL産生菌です。あとは結核菌の検出状況の報告、カルバペネム系抗菌薬とかニューキノロン系抗菌薬などの指定抗菌薬の使用状況を両病院間で検討して発生等について議論をしました。また、手指消毒薬のアルコール系のものも色々あり、その使用状況が報告事項でした。その他、新型コロナウイルス感染症拡大前では季節性のインフルエンザや、ノロウイルス感染症とかでしたが、今はほとんど新型コロナウイルス感染症に関する院内感染対策となり、治療薬についても、職員の感染者、濃厚接触者など対象を分けて取り扱いについての意見交換を行って参りました。

今回は病院に対する診療報酬改定関係では、加算2に加えて「加算3」が新設され、診療所関係では「外来感染対策向上加算」及び、この加算に付加できる、「連携強化加算」、「サーベイランス強化加算」が新設されました。

萩市医師会に所属する病院が加算2、加算3を算定する場合は加算1の病院と年4回のカンファレンスと年1回の訓練が必要となります。

萩市内の診療所の先生方で「外来感染対策向上加算」の算定を希望される場合、施設要件に留意する必要があります。ひとつは専任の院内感染管理者が配置されていること、それと年2回程度は加算1の医療機関、または地域の医師会が定期的に主催する院内感染対策のカンファレンスに参加すること。それと新興感染症の発生等を想定した訓練に年1回は参加することです。また、都道府県の要請を受けて、発熱患者の外来診療を実施する体制を持っていて、それを自治体のホームページに公開していること等が挙げられています。

萩市内の診療所の先生方がこの加算の算定を希望された場合に備え、加算1の医療機関として都志見病院が実施するカンファレンスは、今まで美祢市立病院と行ってきたものと内容の変更をしないといけないと思っています。今後、実施するカンファレンスは先生方の要望及び厚労省のQ&Aを確認し、協議して計画を進めていくように考えております。訓練の計画についても新興感染症のどのようなシーンを想定するかなど、シナリオを考えないといけない。都志見病院の加算1の厚生局への届け出の受理が連休明けにはされると思いますので、受理された後にカンファレンスや訓練の実施手順などについて、地域の感染症対策の体制づくりのためにも医師会と行政を中心に

連携して検討を始めなければならないと思っております。

2) 萩市国民健康保険運営協議会委員の推薦について

推薦 藤原真一 会員

任期 令和4年5月1日～

令和7年4月30日 3年間

3 会員の動向について

森理事

【3月31日付け退会】

県外転出

亀井 沙智 会員（萩市福川診療所）

亀井 亮平 会員（萩市須佐診療センター）

市外転出

勝部 聡太 会員（萩市見島診療所）

亀田 秀樹 会員（都志見病院）

西田 裕紀 会員（都志見病院）

佐伯 晋吾 会員（都志見病院）

【4月1日付け入会】

賣豆紀 晶洋（めずき あきひろ）会員

所属 萩市須佐診療センター

前任：山口県総合医療センター

岡村 康平（おかむら こうへい）会員

所属 萩市見島診療所

前任：上関町立海のまち診療所

来嶋 大樹（きじま たいき）会員

所属 都志見病院 外科

前任：関門医療センター

松元 満智子（まつもと まちこ）会員

所属 都志見病院 内科

前任：セントヒル病院

【4月1日付けで異動】

田中 宗昭 会員 玉木病院 C会員

山本 達人 会員 都志見病院 A会員

萩市大島診療所は住所変更

大島290番地 → 5番地9

4 5月診療報酬請求書の移送について

森理事

国保・社保 5月10日(火) PM2:00まで

5 5月定例理事会、例会の日程について

森理事

定例理事会 5月11日(水) PM7:00~

例会 5月27日(金) PM7:00~

6 令和4年度の職員の昇給について

森理事

理事会での承認報告がされた。

7 郡市医師会医事紛争・診療情報担当理事協議会報告

玉木副会長

3月10日(木) 於 山口県医師会

事務長が資料の内容のみを報告。

8 4月分会計収支の報告について

米城理事

会計収支表のとおり承認された。

二 萩准看護学院

1 4月分会計収支の報告について

米城理事

会計収支表のとおり承認された。

○「事務局」からのお知らせ

税務署から所得税の確定申告の電子申告制度である、e-Tax利用促進の一環で、チラシの配布の要請がありましたので、本日の例会資料とともに会員に配布します。チラシの内容としてはe-Taxで指定口座の登録などの手続きをすれば税金の自動引き落としが可能となり、事務の省力化に繋がるというものです。

○「その他」

河野通裕会員から、外来感染対策向上加算の届け出に添付する書類について、ハー

ドルが高そうに思いましたが、少し量がありますが、日本医師会も例示していますとおり、ある程度のたたき台もありますので、作成はできると思います。

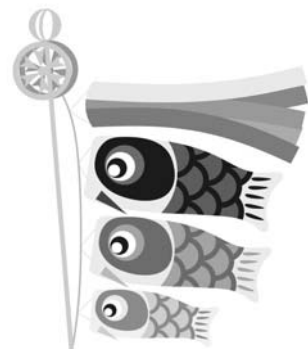
各診療所では平時から対策を講じつつ、診療をしていますので体制づくりはできません。医師会でリーダーシップをとって頂ければ、会員の皆さんも助かります。

綿貫会長から、河野先生のおっしゃるとおりで、東京都医師会が完全な雛形を作っている状況です。自院の状況に応じ、担当者名を記入することで作成できますが、まだ、病院との連携内容が詰められていないので届出書の提出は早急な感がありそうです。ちょっと早いと思います。

必要な書類など雛型となる諸様式はPDFかワードで準備することを考えております。

院内感染対策委員の専任が必要ですが、医師では無く看護師でも可能ですので、なるべく、早く、施設基準の具体的な取り扱いの確認ができると良いと思います。

前川先生から、サーベイランス強化加算として診療所で1点が算定できるとありますが、本日、日本医師会の会議があり、厚生局によっては地域のサーベイランスでは無く全国的なサーベイランスに参加していないと加算の取得、1点は算定できないとしている地域があるそうで、そこが注意点だと思いました。



一 医師会

1 会長報告 綿貫会長

1) 新型コロナワクチンの4回目接種について

現在3回目のワクチン接種の実施状況は、後程、萩市から説明がありますが、萩市内での接種率は非常に高い水準で経過をしております。行政の皆様、そして会員の皆様のご努力のお陰であり、感謝をしております。さて、4回目についてですが、国の具体的な方針が徐々に固まりつつあるということで、本日はその概要について行政の皆様が説明をするため、ご臨席されています。早速ですが、説明の程、よろしくお願いたします。

【ワクチン接種に係る行政説明】

(萩市保健部ワクチン接種班、阿武町健康福祉課)

萩市保健部の河上屋理事並びに阿武町健康福祉課の矢次課長からの挨拶に続いて、萩市保健部ワクチン接種対策室の上田主任から以下のとおり、説明がされた。

① 3回目接種の実施状況について

5月8日時点で萩市で2回目の接種が完了している18歳以上の接種対象者の内、3回目接種済の方は87.7%、萩市の方で接種対象年齢にある方の人口比では76.3%、さらに国が一般的に使用している基準指標である「対全人口比」に換算すると接種率は68.8%、同日時点の山口県の換算値は60.1%、国の換算値は54.4%、であり、別添の阿武町作成の資料からも確認されるとおり、萩市、阿武町とも全国と比べ高い実施水準です。ひとえに会員各医療機関の先生方の接種へのご協力の賜物であり、この場を借りて改めて感謝申し上げます。

げます。

なお、3回目の接種の状況につきましては、資料の最終頁のとおりです。

② 4回目接種の接種体制等について

対象者は60歳以上の方で3回目の接種が完了している方が主な対象となります。それ以外の対象者としては18歳から59歳の方で基礎疾患を有する方、その他の理由で重症化のリスクが高いと医師が認める者であること

接種間隔は、3回目の接種の完了から少なくとも5ヶ月以上空けることになっていること。4回目に使用するワクチンは、現時点ではファイザー社製ワクチン若しくはモデルナ社製ワクチンであること

接種対象者数は、60歳以上の3回目の接種完了者が5月8日時点で20,232人、それぞれの3回目接種時期に対応する4回目接種可能時期は資料③に記載のとおり。例えば、60歳以上の方で医療従事者の方では昨年の12月中旬に接種済みであるが、一般の方では1月中旬から高齢者施設の利用者を中心に接種を始めたので、5ヶ月後となる6月中旬以降、徐々に接種対象者数が増えていくこと。本格的には7月以降、接種者数が増えること

なお、基礎疾患を有する方で4回目の接種を希望する場合、萩市ワクチン接種対策室に申し出され、接種券発行の申請手続きをされ、接種券が発行された方が医療機関などで接種を受けていただくこと

③ 4回目接種の実施体制の方針について

接種実績からみて接種券の発送が本格化するのは6月中旬以降であることから、6月13日の月曜日を接種券の発送開始日としたいこと。同時に予約の受付も開始すること

今回も3回目の接種同様、予約の申込みを分散させるために3回目接種後5カ月の到来者分を1週間ごとにまとめ接種券を発送すること

なお、3回目の接種での接種券送付の際には接種可能時期である2回目の接種から6ヶ月が経過する日よりも前である、1週間前には発送したため、6ヶ月を経過せずに接種した事例が発生したことから、この度は3回目の接種から確実に5ヶ月経過するのを待って、対象者に接種券を発送すること。ちなみに4回目の接種の接種券は薄緑色を予定していること

次に接種開始時期としては6月20日の月曜日を接種開始日とすること。この4回目の接種の目的は社会全体で重症化リスクのある方の重症化を防ぐことを主眼としており、医療を含む社会機能の低下防止、機能維持を目的としていないため、医療従事者は接種対象者として特定されていないこと。従って、医療従事者であっても、一般住民の60歳以上の方と同様の扱いとなることから、昨年12月中に3回目の接種をされた医療従事者の方には5月下旬ぐらいには接種可能時期が到来するが、自院での対応を急ぐなどの理由がない限り、原則、6月20日の月曜日以降、接種券の届いた方から接種対応をお願いしたいこと

介護施設等の利用者についても6月20日から接種開始となるが、各施設からは接種実施医療機関へ相談の上、接種日時の調整を図るよう、事前に周知したいこと

接種の方法としては従前どおり、「個別接種」と「集団接種」との併用になるが、原則、接種対象者が60歳以上、基礎疾患のある方と限定され、3回目の接種対象者の半数強ぐらいの対象者数となる

ことから接種実施医療機関での「個別接種」を中心に「集団接種」は個別接種のフォローアップの位置付けでの接種実施を計画していること

【個別接種】

接種対象者は22,000人から25,000人ぐらいと推測されること。この対象者に対して、現時点で国及び県から示されたワクチン配給計画ではファイザー社製ワクチンは6,750回分、モデルナ社製ワクチンは24,150回分。3回目の接種の配給ではファイザー社製とモデルナ社製とが大体半々であったのに対して、ファイザー社製のワクチンの配給が少なくなっていること。現在、市が在庫保管しているファイザー社製のワクチンを含めて、1バイアル当たり7人分で接種するとしても、9,000回分ぐらいとなること。3回目の接種の時に比べて、ファイザー社製ワクチンの配給がかなり少なくなっているため、4回目の接種については各医療機関での個別接種は専ら、モデルナ社製ワクチンの使用とすることをご理解願いたいこと

この萩市の考え方に対する理事からの意見として、ワクチンの配給について各医療機関で接種をする方から、予約受付時に希望する接種ワクチンの意向を確認し、接種するとした場合、各医療機関への事務の負担がかかることから、個別接種はモデルナ社製ワクチンに統一とすることが提案された結果、萩市保健部ワクチン接種対策室からは持ち帰り検討することが約された。なお、市は来週早々には接種実施医療機関にワクチンの配給に関する意向調査の実施することを計画していたが、個別接種ワクチン統一化案と合わせ、調査の内容についても、合わせて検討することとされた。

萩市から後日、次のとおり回答があった。
①接種開始（6/20）から7月末までは原則、

全医療機関ともモデルナ社製ワクチンを使用すること

- ②8月以降の接種についてはファイザー社製ワクチンも併用すること
(基本的には上限は設けない)

- ③集団接種はモデルナ社製ワクチンを使用すること

萩市及び阿武町が接種券を発行するに当たり3回目接種修了者のデータから60歳以上の方を抽出し、対象者を選定し、接種券の作成に至ること

18歳以上59歳以下の基礎疾患を有し接種を希望される方は、本人の申請に基づいての接種券発行となるため、事前に医療機関へ問い合わせるのではなく、まずは萩市保健部ワクチン接種対策室へ申請(問合せを含む)が必要なことの住民周知を徹底すること(医師会からも重ねて要請あり)

- 2) 山口県医師会役員の推薦について

常任理事推薦者 前川恭子 会員
日医予備代議員も併せて推薦

山口県医師会へ萩市医師会が推薦し、4月21日付けで推薦届受理書が届いたことの報告がされるとともに、前川県医常任理事から、挨拶を兼ねて、当医師会として会員数が限られる中、任期中に当医師会として常任理事の推挙をどうすべきか、検討をして頂きたいとの要請がされた。

- 2 6月診療報酬請求書の移送について

森理事

国保・社保 6月10日(金) PM2:00まで

- 3 6月定例・臨時理事会、例会、定時総会の日程について

森理事

定例理事会 6月1日(水) PM7:00~

臨時理事会 6月8日(水) PM7:00~

臨時理事会 6月15日(水) PM7:00~

定時総会 6月18日(土) PM3:00~

例会 6月18日(土) 総会後
総会会場(予定): 医療支援センター

- 4 令和4年度の予算案について 米城理事
医師会と准看護学院の予算の会計収支表に基づき説明があり承認された。

- 5 4月分会計収支の承認について

米城理事

収支表のとおり承認された。

二 萩准看護学院

- 1 4月分会計収支の承認について

米城理事

収支表のとおり承認された。



Dr A.Oの表紙写真も凄い

山本 貞壽

萩市医師会報4月号は最終金曜日が祝日・昭和の日であったため配布されてきた。「凄い！」と同誌を手にして反射炉へ駆けつけた。

「明治日本の産業革命遺産－製鉄・製鋼、造船、石炭産業－」が世界文化遺産に登録されたのが平成27年7月でした。23件の資産の5件は、萩城下町・萩反射炉・恵美須ヶ鼻造船所跡・大板山たたら製鉄遺跡・松下村塾ですが、反射炉と造船所跡はわが家のすぐ近く。

萩に住む幸せと、その歴史を誇りとする責任から、この5件の登録の経過を担当された方のご苦勞をしっかりと周知しておいてほしい企画を秋に持っている。

上記のことで、表題の「…凄い」というものではありません。桜満開の時機は僅か一週間、天気の良い日、列車の通る時間（ほんと本数少ないのだから）ここに居られたわけですA・O先生は。勤務もあるし。その情熱・執念に感心したのです。

私がすぐに反射炉に駆けつけたのは、次のことを確かめたかったからです。凄い作品に

ケチをつけるのでは決してありません。仕事柄と近頃シャーロック・ホームズや明智小五郎の役目も回ってくるもので（検案今年3件）。

反射炉をバックに桜吹雪？。地面や前面の芝木をみれば判りますが、まだ花は散っていません（名探偵）。花吹雪に見えるのは、元々反射炉の表面にあるものだと確かめたのです。

精神にジーンときます桜吹雪。霊峰富士をバックに大きい桜の花びらが表紙一面に飛んでいる本に最近出会い、表紙を毎日眺めています。「木花開耶姫の霊言」（「大和の心」の源流を語る）。（幸福の科学出版）。

この連休に同一著者の「70歳が老化の分かれ道」「80歳の壁」「70代で死ぬ人、80代でも元気な人」を読んでみた。私より20歳以上も若い学者で良いことっておられますが、83歳の私にはもっと必要なことが言えます。80歳を越えないと判らないこととも言えない。今の体調で90歳まで達した時に（極めて難しい？）、チャンと理論をたてて述べましょう。講演料は高いですよ。

今回は諸井堯子先生を思いながら、の予定。



編集後記

昼は燕、夜は蝙蝠が飛び交う季節になりました。今年は、3年ぶりに制限のないゴールデンウィークとなり、社会対応や認識の変化を感じます。学校健診など、大勢の人と関わる仕事が増える時期でもあります。感染対策の再確認をしつつ、対応していきたいと思います。

(R.H.)



小児感染症情報

4/4(月)～5/1(日)

疾患名	4/4～4/10	4/11～4/17	4/18～4/24	4/25～5/1
新型コロナウイルス感染症	67	87	84	45
インフルエンザ (A・B)				
RSウイルス感染症				
咽頭結膜熱 (アデノウイルス感染症含む)				1
溶連菌感染症				
感染性胃腸炎 (ロタ・アデノ・ノロ・その他)	9	14	9	6
水痘				
手足口病				
伝染性紅斑				
突発性発しん	1	1	1	
ヘルパンギーナ				
流行性耳下腺炎				
帯状疱疹				
ヒトメタニューモウイルス				
マイコプラズマ感染症				
ヘルペス歯肉口内炎				

報告者：いわたにこどもクリニック 院長 岩谷 一

救急月報 (令和4年4月分)

萩市消防本部

区分	救急事故種別											合計	
	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		
本月分	出動件数	0	0	1	12	1	0	38	0	1	153	42	248
	搬送人員	0	0	1	12	1	0	37	0	1	148	38	238

萩市医師会報 No.590

2022年5月27日発行

編集 広報委員会
 発行人 萩市医師会
 印刷所 (有) マシヤマ印刷